

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
トルコギキョウ	2人	トルコギキョウ11月+5月出荷	1. 低コスト耐候性ハウスで11月+5月出荷、12+5~6月出荷、1月+5~6月出荷、連棟補強Ⅱ型(SRH)で2月、3~4月出荷 2. 全圃場統合環境制御、炭酸ガス局所施用実施 3. 全作で自家育苗苗利用 4. 京阪神市場へ出荷
		トルコギキョウ12月+5月出荷	
		トルコギキョウ1月+4~5月出荷	
		トルコギキョウ2月出荷	
		トルコギキョウ3~4月出荷	
	計	50	
		経営耕地面積 水田 50 畑	
経営目標		1 農業総収入 38,539 千円 2 農業経営費 30,795 千円 3 農業所得 7,744 千円	4 1日当たり農業所得 17,184 円 5 1人当たり年間労働時間 1,803 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	作業場・倉庫	1	鉄骨・100m <sup>2</sup>	1	9,451	24	394
	低コスト耐候性ハウス(アーチ型)	3	低コスト耐候性ハウス1,000m <sup>2</sup>	1	52,188	14	1,864
	連棟補強Ⅱ型(SRH)	2	連棟補強型Ⅱ型・1,000m <sup>2</sup>	1	29,112	14	1,040
	APハウス単棟	2	育苗ハウス・100m <sup>2</sup>	1	2,055	8	128
	防油堤	5		1	2,689	25	108
	オイルタンク	5	1900k	1	2,560	7	183
	計				98,055		3,716
農機具	トラクター	1	20ps	1	1,855	7	132
	管理機	1	6.2ps	1	298	7	21
	動力噴霧機	1	3.1ps	1	184	7	13
	温風暖房機	5	75,000kcal	1	7,220	7	516
	軽トラック	1	660cc	1	1,324	4	166
	軽ワゴン	1	660cc	1	1,324	7	95
	冷蔵庫	1	3坪	1	1,687	7	121
	土壤消毒機		歩行型(管理機付)	1	125	7	9
	養液土耕システム(液肥混入・地上灌)	3	コンピュータ制御・電磁弁	1	4,560	7	326
	ヒートポンプ(育苗用)	2	5ps	1	1,222	7	87
	ヒートポンプ	5	8ps	1	8,664	7	619
	統合環境制御機器	5	1ハウスに1台	1	6,696	7	478
	炭酸ガス発生装置	5	10aハウス用	1	1,388	7	99
	局所施用機	5	10aハウス用	1	2,090	7	149
	循環扇	30	10aに6台	1	1,034	7	74
	電照設備(LED)	5		1	7,547	7	539
	頭上灌水	5		1	5,320	7	380
防虫ネット	5		1	722	7	52	
計				53,259		3,875	

## 3-1. 技術体系(品目名:トルコギキョウ 11月+5月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)播種準備	育苗ハウスビニール張り	6月上		2	3	6	ポリ0.1mm 100㎡分	
播種		6月上	冷蔵庫	3	8	24	簡易播種機 固化培土100ト レー 408穴	・播種冷蔵4週間 ・夜冷育苗5週間
育苗管理	冷蔵 温度管理 灌水	6月上～ 8月上	ヒートポン プ	1	23	23		・底面給水の場合、発根後 は過湿にならないように注 意し、本葉出始め頃から上 部灌水へ移行する。
定植準備	耕耘(土壌 消毒ガス抜 き) 元肥施用 畝立て	7月上中 旬	土壌消毒 機 トラクター 管理機	2	8	16	堆肥 3t 苦土石灰100kg マルチ900m 肥料	元肥 窒素8kg、リン酸8kg、 加里8kg
	マルチ張り 支柱立て ネット張り	7月下旬		2	12	24		・床幅 75cm、通路 40cm
定植		8月上		6	12	72		・栽植 10cm×10cmの6 目4条植え ・10a 32,000本 (8m間口、7畝、3連)
点滴灌水	養液土耕	8月上～ 11月下	養液土耕 システム	1	5	5	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加 里9kg程度を施す。
ネット上げ		9月～ 10月		2	2	4		・生育に応じ早めにネット を上げる
整枝		9月		4	30	120		・腋芽の整理
温度管理・ 環境制御		11月	統合環境制 御装置 温風暖房機 ヒートポンプ 循環扇	1	2	2	(下記)	・二重カーテン ・自動谷換気設置 ・昼温28℃、夜温13℃を確 保する。
摘蕾		10月～11 月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去す る。
収穫・出荷		11月	軽トラック 軽ワゴン 冷蔵庫	4	81	324		・3～4輪開花したとき収穫 する。
病害虫防 除		8月～ 11月	動力噴霧 機	2	6	12		・県防除基準による。

点滴灌水	養液土耕	12月～5月	養液土耕システム	1	6	6	液肥	・窒素8kg、燐酸5kg、加里9kg程度を施す。
整枝		12月～1月		4	30	120		・株当り1本に整枝
ネット上げ		2月～4月		2	3	6		・生育に応じ早めにネットを上げる
温度管理 ・環境制御		1月～4月	統合環境制御装置 温風暖房機 ヒートポンプ 炭酸ガス発生装置局所 施用機	1	6	6	暖房については、11月～4月 重油3,117ℓ 電気13,691kw	・二重カーテン ・循環扇設置 ・自動谷換気設置 ・昼温25～28℃、夜温13℃ を確保する。 ・炭酸ガス施用
摘蕾		3月～4月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去する。
収穫・出荷		5月～6月上	軽トラック 軽ワゴン 冷蔵庫	4	81	324		・3～4輪開花したとき収穫する。
病害虫防除		12月～5月	動力噴霧機	2	6	12		・県防除基準による。
後かたづけ		7月上	軽トラック	4	12	48		
合計						1394		

3-2. 技術体系(品目名:トルコギキョウ 12月+5月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)播種準備	育苗ハウスビニール張り	6月下		2	3	6	ポリ0.1mm 100㎡分	
播種		6月下	冷蔵庫	3	8	24	簡易播種機 固化培土100ト レー 408穴 約40,000苗育苗	・播種冷蔵4週間 ・夜冷育苗5週間
育苗管理	冷蔵 温度管理 灌水	6月下～ 8月下	ヒートポン プ	1	23	23		・底面給水の場合、発根 後は過湿にならないよう に注意し、本葉出始め頃 から上部灌水へ移行す る。
定植準備	耕耘 (土壌消毒ガ ス抜き) 元肥施用 畝立て	7月下	土壌消毒 機 トラクター 管理機	2	8	16	堆肥 2t 苦土石灰100kg マルチ900m 肥料	元肥 窒素8kg、リン酸8k g、加里8kg
	マルチ張り 支柱立て ネット張り	8月中		2	12	24		・床幅 75cm、通路 40cm
定植		8月下	頭上灌水	6	12	72		・栽植 10cm×10cmの6 目4条植え ・10a 32,000本 (8m間口、7畝、3連)
点滴灌水	養液土耕	8月～ 12月	養液土耕 システム	1	5	5	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加 里9kg程度を施す。
ネット上げ		10月～ 11月		2	2	4		・生育に応じ早めにネット を上げる
整枝		10月		4	30	120		・腋芽の整理
温度管理 ・環境制御		11月～ 12月	統合環境制 御装置 温風暖房機 ヒートポン プ 炭酸ガス発 生装置局所 施用機 循環扇	1	2	2	(下記)	・二重カーテン ・自動谷換気設置 ・昼温25～28℃、夜温 13℃を確保する。 ・炭酸ガス施用(ハウス閉 め切り時より開始)
摘蕾		10月～ 12月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・栽培中に孫芽を除去す る。
収穫・出荷		12月	軽トラック 軽ワゴン	4	81	324		・3～4輪開花したとき収 穫する。

病害虫防除		8月～12月	動力噴霧機	2	6	12		・県防除基準による。
点滴灌水	養液土耕	1月～6月	養液土耕システム	1	5	5	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加里9kg程度を施す。
整枝		1月～2月		4	30	120		・株当たり1本に整枝
ネット上げ		3月～4月		2	2	4		・生育に応じ早めにネットを上げる
温度管理 ・環境制御		1月～4月	統合環境制御装置 温風暖房機 ヒートポンプ 炭酸ガス発生装置局所施用機	1	6	6	暖房については、11月～4月 重油3,117ℓ 電気13,691kw (電気については、ヒートポンプ、温風暖房機使用分)	・二重カーテン ・自動谷換気設置 ・昼温25～28℃、夜温13℃を確保する。 ・炭酸ガス施用
摘蕾		4月～6月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去する。
収穫・出荷		4月～6月上	軽トラック 軽ワゴン 冷蔵庫	4	81	324		・3～4輪開花したとき収穫する。
病害虫防除		1月～6月	動力噴霧機	2	6	12		・県防除基準による。
後かたづけ		6月中	軽トラック	2	24	48		
合計						1391		

3-3. 技術体系(品目名:トルコギキョウ 1月+4~5月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 播種準備	育苗ハウスビニール張り	7月上		2	3	6	ポリ0.1mm 100㎡分	
播種		7月上	冷蔵庫		3	8	24 簡易播種機 固化培土100ト レー 408穴 約40,000苗育苗	・播種冷蔵4週間 ・夜冷育苗5週間
育苗管理	冷蔵 温度管理 灌水	7月上~ 9月上	ヒートポン プ	1	23	23		・底面給水の場合、発根 後は過湿にならないよう に注意し、本葉出始め頃 から上部灌水へ移行す る。
定植準備	耕耘 (土壌消毒ガ ス抜き) 元肥施用 畝立て	8月上	土壌消毒 機 トラクター 管理機	2	8	16	土壌消毒 樹皮堆肥 2t 苦土石灰100kg マルチ900m 肥料	元肥 窒素8kg、リン酸8k g、加里8kg
	マルチ張り 支柱立て ネット張り	8月中下		2	12	24		・床幅 75cm、通路 40cm
定植		9月上	頭上灌水	6	12	72		・栽植 10cm×10cmの6 目4条植え ・10a 32,000本 (8m間口、7畝、3連)
点滴灌水	養液土耕	9月上~ 1月	養液土耕 システム	1	5	5	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加 里9kg程度を施す。
ネット上げ		10月~ 12月		2	2	4		・生育に応じ早めにネット を上げる
整枝		9月~10 月		4	30	120		・腋芽を整理
温度管理 ・環境制御		11月~ 1月	統合環境制 御装置 温風暖房機 ヒートポン プ 炭酸ガス発 生装置局所 施用機 循環扇	1	2	2	(下記)	・二重カーテン ・自動谷換気設置 ・昼温25~28℃、夜温 13℃を確保する。 ・炭酸ガス施用
摘蕾		11月~ 1月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去す る。
収穫・出荷		1月	軽トラック 軽ワゴン	4	81	324		・3~4輪開花したとき収 穫する。

病虫害防除		9月～1月	動力噴霧機	2	6	12		・県防除基準による。
点滴灌水	養液土耕	1月～5月	養液土耕システム	1	4	4	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加里9kg程度を施す。
整枝		2月～3月		4	30	120		・株当り1本に整枝
ネット上げ		3月～4月		2	2	4		・生育に応じ早めにネットを上げる
温度管理・環境制御		2月～4月	統合環境制御装置 温風暖房機 ヒートポンプ 炭酸ガス発生装置局所 施用機 循環扇	1	6	6	暖房については、11～4月重油3,117ℓ 電気 13,691kw(電気については、ヒートポンプ、暖房機使用分)	・二重カーテン ・自動谷換気設置 ・昼温25～28℃、夜温13℃を確保する。 ・炭酸ガス施用
摘蕾		3月～4月		4	30	120		・主径頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去する。
収穫・出荷		4月～5月	軽トラック 軽ワゴン 冷蔵庫	4	81	324		・3～4輪開花したとき収穫する。
病虫害防除		2月～5月	動力噴霧機	2	6	12		・県防除基準による。
後かたづけ		6月		2	24	48		
合計						1390		

3-4. 技術体系(品目名:トルコギキョウ 2月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 播種準備	育苗ハウスビニール張り	7月上		2	3	6	ポリ0.1mm 100㎡分	
播種		7月中	冷蔵庫	3	8	24	簡易播種機 固化培土100ト レー 408穴 約40,000苗育	・播種冷蔵4週間 ・夜冷育苗5週間
育苗管理	冷蔵 温度管理 灌水	7月中～ 9月中	ヒートポン プ	1	23	23		・底面給水の場合、発根 後は過湿にならないよ うに注意し、本葉出始め 頃から上部灌水へ移行す る。
定植準備	耕耘 (土壌消毒ガ ス抜き) 元肥施用 畝立て	8月中	土壌消毒 機 トラクター 管理機	2	8	16	樹皮堆肥 2t 苦土石灰100kg マルチ900m 肥料	元肥 窒素8kg、リン酸8k g、加里8kg
	マルチ張り 支柱立て ネット張り	8月下～ 9月上		2	12	24		・床幅 75cm、通路 40cm
定植		9月中	頭上灌水	6	12	72		・栽植 10cm×10cmの6 目4条植え ・10a 32,000本 (8m間口、7畝、3連)
点滴灌水	養液土耕	9月中～ 1月	養液土耕 システム	1	5	5	液肥	・窒素8kg、リン酸5kg、加 里9kg程度を施す。
ネット上げ		10月～ 1月		2	2	4		・生育に応じ早めにネット を上げる
整枝		10月～ 11月		4	30	120		・脇芽の整理
温度管理 ・環境制御		11月～ 2月	統合環境制 御装置 暖房機 ヒートポン プ 炭酸ガス発 生装置局所 施用機	1	2	2	暖房については、 11月～2月重油 2,747ℓ 電気11,053kw	・二重カーテン ・循環扇設置 ・自動谷換気設置 ・昼温25℃、夜温13℃を 確保する。
摘蕾		12月～ 1月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去す る。
収穫・出荷		2月	冷蔵庫 軽トラック 軽ワゴン	4	81	324		・3～4輪開花したとき収 穫する。
病害虫防 除		9月～2 月	動力噴霧 機	2	6	12		・県防除基準による。
後かたづ け		3月	軽トラック	2	24	48		
合計						800		



3-5. 技術体系(品目名:トルコギキョウ 3~4月出荷作型)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時間	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗) 播種準備	育苗ハウスビニール張り	7月下		2	3	6	ポリ0.1mm 100㎡分	
播種		8月上	冷蔵庫	3	8	24	簡易播種機 固化培土100ト レー 408穴 約40,000苗育苗	・播種冷蔵4週間 ・夜冷育苗5週間
育苗管理	冷蔵 温度管理 灌水	8月上~ 9月下	ヒートポン プ	1	23	23		・底面給水の場合、発根 後は過湿にならないよう に注意し、本業出始め頃 から上部灌水へ移行す る。
定植準備	耕耘 (土壌消毒ガ ス抜き) 元肥施用 畝立て	9月下	土壌消毒 機 トラクター 管理機	2	8	16	土壌消毒 樹皮堆肥 2t 苦土石灰100kg マルチ900m 肥料	・元肥 窒素8kg、磷酸8k g、加里8kg
	マルチ張り 支柱立て ネット張り	9月下		2	12	24		・床幅 75cm、通路 40cm
定植		10月上		6	12	72		・栽植 10cm×10cmの6 目4条植え ・10a 32,000本 (8m間口、7畝、3連)
点滴灌水	養液土耕	10月上~ 4月下	養液土耕 システム	1	7	7	液肥	・窒素8kg、磷酸5kg、加 里9kg程度を施す。
ネット上げ		11月上~ 4月下		2	2	4		・生育に応じ早めにネット を上げる
整枝		11月~ 12月		4	30	120		・腋芽の整理
温度管理 換気・環境 制御		11月~ 4月	統合環境制 御装置 暖房機 ヒートポンプ 炭酸ガス発 生装置局所 施用機 循環扇	1	7	7	暖房につい ては、11月~4月 重油3,117ℓ 電気10,053kw	・二重カーテン ・自動換気設置 ・昼温25℃、夜温13℃を 確保する。
摘蕾		2月~ 3月		4	30	120		・主茎頂花を摘蕾する。 ・採花前に孫芽を除去す る。
収穫・出荷		3月~ 4月	軽トラック 軽ワゴン	4	81	324		・3~4輪開花したとき収 穫する。
病害虫防除		11月~ 4月	動力噴霧 機	2	6	12		・県防除基準による。
後かたづけ		5月	軽トラック	2	24	48		
合計						807		

4. 品目の作付体系 (○播種、△定植、□出荷)

品目(作型)	施設	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トルコギキョウ 11月出荷 5月出荷	低コスト耐候 性ハウス						○		△				
トルコギキョウ 12月+5月出荷	低コスト耐候 性ハウス						○		△				
トルコギキョウ 1月+4~5月出荷	低コスト耐候 性ハウス	□						○		△			□
トルコギキョウ 2月出荷	連棟補強Ⅱ型 (SRH)							○		△			
トルコギキョウ 3~4月出荷	連棟補強Ⅱ型 (SRH)								○		△		





